

◆三市連携・高校生地域づくり交流会

令和7年2月11日（火）

せきてらす（関市）で開催された「三市連携・高校生地域づくり交流会」に、本校生徒31名が参加しました。プレゼン発表は、各市での地域づくり事業の紹介を行うことで、まちづくりへの興味や関心を持つきっかけとすることを目的とし、本校代表生徒が「地域活動と認知症予防」について発表しました。レクレーションや交流会では、関市と各務原市の高校生やボランティア団体の方と関わることで、他の地域での取り組みを知るとともに、地域活性化の大切さを感じることができました。どの生徒も真剣に発表を聞き、レクレーションや交流会に積極的に取り組む姿がみられました。以下は生徒の感想です。

<参加した生徒の感想より>

- ・関市や各務原市の高校生と関わってみて、他の市から見た美濃加茂市のイメージや美濃加茂市にはない伝統や文化を知ることができた。それぞれの市で問題になっていることや解決方法なども異なり、交流することで新しい視点ができ、とても楽しかった。
- ・関市や各務原市との交流で新たな視点から物事を考えることができた。また、それぞれの市の活動を知れて、現状を認識できるよい機会になった。
- ・発表は緊張したが、多くの人と考えを交流し、深めたことで自身が成長できる機会になった。情報交換をするだけでなく、自分の夢を形にするための大きな一歩になると感じた。この経験を生かしつつ、自分の進路決定にもつなげたい。
- ・昨年度と違い、一般申し込みが出来たので参加者が多く、緊張の中での発表でしたが、先輩や先生方に褒めてもらうことができて良かった。普段、他の高校生と関わる機会は少ないので、とても貴重な経験ができた。初めて会う人の前で話す時や緊張をほぐすときにこの学びを生かしたい。
- ・3つの市の高校生や市の職員の方がたくさん集まり、それぞれの市がやっていることのプレゼンを聞き、その市や学校のことを知ることができた。みんなの前で発表することは緊張したけど、チームでスライドや原稿を作って、学校以外の場所で発表するという貴重な機会になった。加えて、レクなどで他校の人とも交流ができて、とても楽しかった。

